

スマートシティ京都プロジェクト①

スマートシティ京都プロジェクト

岡崎地域公共施設間エネルギーネットワーク形成実証事業

岡崎を中心としたエネルギーネットワークの展開によるエネルギーの地産地消

岡崎地域における公共施設間のエネルギーネットワークの形成を目指し、エネルギーの融通等の実施によるエネルギーの効率的利用の先導的取組を展開するとともに、環境と経済が融合する社会経済システムの構築を目指す。

公共施設間エネルギーネットワーク形成実証
～エネルギーの地産地消～

エネルギーとエコの「ショーケース」
～環境にやさしい「エコ・Zoo」の実現～

岡崎地域での公共施設エネルギーネットワーク構築

(ネットワーク対応型BEMSの相互接続)

⇒ ピークシフト、節電による域外からのエネルギー供給の削減

系統線(電力会社の配電線)を用いた電力のやり取り

<実証>(分散型電源のさらなる活用)

・コージェネレーション余剰電力等の地域エネルギーネットワークでの有効活用

⇒ 域内におけるエネルギー融通による域内全体の購入電力の削減
災害時や電力逼迫時等の地域の緊急電源などに活用

太陽エネルギーの活用
(太陽光発電・太陽熱利用)

小型バイオガス発生装置

有機系太陽電池の実証
(デザインソーラーランタン)

小水力発電の導入
(「らせん水車」の実験)

京都市武道センター

京都会館

京都市動物園

みやこめっせ(展示ホール)

京都市美術館

京都市国際交流会館

京都の強み、産学公の連携による研究成果の実証

京都の強みを生かした具体的取組による環境産業振興

・「京都環境ナノクラスター」の研究成果である革新的省エネデバイス等を、岡崎地域に先導的実証の場として実証、導入を図り、最先端の技術やシステムを国内外に発信

公共施設への省エネ・創エネ設備の導入
～再生可能エネルギー、次世代エネルギー設備の導入～

各施設へ省エネ・創エネ設備の導入

・BEMSの導入による各施設におけるエネルギーの「見える化」と省エネ取組の展開(約10%のエネルギー消費抑制)
・各施設への再整備に合わせたコージェネレーション、ヒートポンプ等省エネ・創エネ機器導入(約10%のエネルギー消費抑制)
⇒ 個別施設でのエネルギー使用抑制